

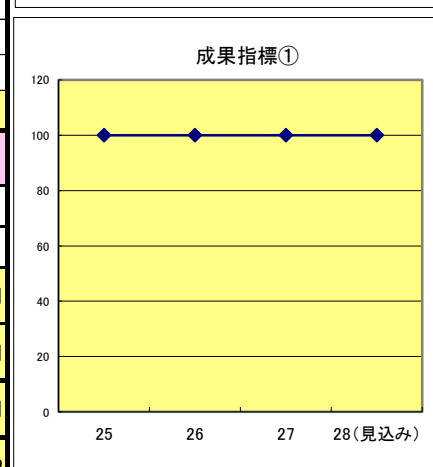
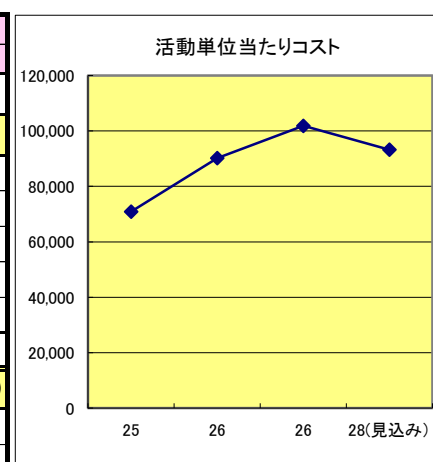
平成 28 年度 事務事業評価シート (平成 27 年度実施事業)

整理番号

土維02

事務事業名		道路維持管理業務		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	8	土木費	
					項	1	土木管理費	
					目	2	維持管理費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		事業	1	維持管理	
	施策(節)	9	道路交通					
	施策の方向	(2)	計画的な道路整備と維持管理の推進		作成部署	土木部維持管理課		
関連する計画等				(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2911			
事業の概要(目的・内容)		①道路維持管理に関する苦情等の対応 ②道路施設修繕 ③街路樹等の植栽管理 ④道路パトロール ⑤道路清掃						
根拠法令等		道路法						
事業期間		☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満 (平成 年度開始)						
事業開始時からの状況変化		道路施設の老朽化が進んでいる。						
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市シルバー人材センター)		委託内容		植栽管理や草刈り等		
		☒ 民間委託 ☐ その他						

区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	
		(実績)	(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		14,546	13,549	14,265	14,000	
人件費【2】 (千円)		14,090	15,585	16,179	16,770	
職員数	正規職員	1.10 人	1.50 人	1.50 人	1.50 人	
	再任用職員	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
	嘱託員	1.00 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
	臨時職員	1.00 人	1.00 人	0.50 人	0.00 人	
	非常勤職員	人	人	0.50 人	0.50 人	
超過勤務(参考) (時間)		時間	時間	時間	時間	
総事業費【(1)+(2)】 【A】 (千円)		28,636	29,134	30,444	30,770	
財源内訳	国庫支出金 (千円)					
	府支出金 (千円)					
	市債 (千円)					
	その他 (使用料・手数料等) (千円)					
	一般財源 【B】 (千円)	28,636	29,134	30,444	30,770	
活動指標 【C】 (事業の活動実績)		25年度	26年度	27年度	28年度 (見込み)	
① 作業実績件数	単位 件	404	323	299	330	
②						
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		70,881 円	90,197 円	101,819 円	93,241 円	
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)		70,881 円	90,197 円	101,819 円	93,241 円	
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		246 円	252 円	266 円	271 円	
一般財源【B】の推移(前年度比)			1.7 %	4.5 %	1.1 %	
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ) ※該当項目すべてに✓		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど				☐ 2. 左記
		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動				☐ 4. 国庫
		☐ 5. その他(				



成果指標 (事業の達成度を測る指標)	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	① 作業実施率	%	目標 100	100	100	100
	(式又は説明) 作業実施件数÷作業依頼件数×100		実績 100	100	100	100.0%
②			目標			達成率 (%)
	(式又は説明)		実績			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○		○						

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	市民からの通報・苦情や道路パトロールにより発見した道路施設の破損箇所は迅速に修繕を行い対応している。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	簡易な修繕や緊急を要する事案は職員で対応し、大きな修繕などは道路公園課と協議し当課で対応できる以外のものは外部委託している。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	道路側溝などの清掃は地元住民の協力を得て実施し、処分等は当課がしている。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	依頼等があれば、迅速に対応している。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価			
	☒ 継続	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 廃止・休止
	(概ね現行どおり継続して実施)	(実施方法の改善を検討する)	(事業規模の縮小を検討する)	(廃止・休止を検討する)
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)			
	生活基盤である道路を適正に管理することは大変重要であるとする、その為には、関係課と連携をとり迅速な対応していく必要がある。			

行革 本部 評価	総合評価		評価理由・意見
	☐ 継続	☐ 改善	
	☐ 縮小	☐ 廃止・休止	